

雲仙市地域公共交通協議会

平成20年 2月15日設置
平成20年 3月25日連携計画策定



事業概要

雲仙市には、全国的に有名な温泉観光地として小浜温泉と雲仙温泉があるが、圏域外（熊本県）から雲仙温泉街までの徒歩客に対する交通の乗り継ぎが不便であるため、徒歩客による観光客が少なく、乗用車利用が多い。しかし、今後は少子高齢化や若年層の車離れ傾向から、徒歩客に対する乗り継ぎの利便性向上による観光客誘致が必要である。

雲仙温泉街までのルートとしては、諫早市経由での鉄道及びバス利用や有明海のフェリー航路があり、有明フェリーの多比良港から雲仙温泉街までの交通手段がないためデマンドシャトルタクシーを実施する。

○多比良港デマンドシャトルタクシー実証運行事業【H22年度】

国見地域と雲仙温泉街を結ぶ最短ルートである国道389号線において、地域住民や観光客（有明フェリー徒歩利用者）が利用できる新しい移動手段を確保するために、フェリーターミナルのある多比良港と雲仙温泉街を結ぶデマンドシャトルタクシー実証運行を実施する。

また、実証運行実施に伴い、地域内外にPRするために、周知用チラシを作成し、新聞折込等により周知広報を実施する。

